

御座山山行報告

【山行日】 2014年 10月 19(日) 快晴
【集 合】 岩舟支所P AM 6:00
【費 用】 マイカー1台 : 4,500円
【メンバー】 CL:鈴木、 大西、島田、関、
【コースタイム】岩舟支所 P4:00 = 長者の森
P6:20/6:45 ~ 白岩コース合流点 8:10 ~ 見晴台 8:50 ~
御座山 10:00/10:25 ~ 見晴台 11:10 ~
白岩コース合流点 12:10 ~ 送電鉄塔 12:15/12:45 ~
長者の森 P13:30 = 岩舟支所 P16:40



御座山は S さんが、2回挑戦し2回とも氷と雪に阻まれて撤退した山。



今回は S さんのリベンジ山行で計画した。2日前に S さんから、夕方5:00までには帰宅したいと連絡があり、出発時間を1時間早くした。

長者の森のトイレは、夜間は使用できず1km手前の加和志湖畔のトイレを利用するようになる。

テニスコートの先を、右に降りるように進みキャンプ場を過ぎると砂利道となり、数分走ると車が数台止まれる広場があったので駐車したが、この先の林道終点に

3台位止められるスペースがある。

林道終点の登山口から登山道に入り、カラマツの植林帯をゆるやかに登ると急傾斜の尾根道になる。尾根から左に外れ、少し下ると送電鉄塔があり、登り返すと白岩コースに合わさる。

ここから先は尾根沿いの緩やかな登山道で、気持ちよく歩ける。やがて傾斜が増してくると、モミやツガ等の針葉樹林帯となり、シャクナゲのトンネルを登るようになる。初夏のシャクナゲの時は、花のトンネルを歩く素晴らしいコースだ。急傾斜から、緩やかな尾根を歩くようになると見晴台に着く。

西側が開け、蓼科山から北八の山並みを間近に臨める。樹林中の急な登りが前衛峰の肩まで続き、傾斜が緩くなるとやがて前衛峰に着く。ここから行手に御座山が間近に見えるが、まだまだ高い。岩場の急斜面を慎重に、うだつ沢のトーミまで下り最後の急登となる。鬱蒼とした針葉樹林の急斜面をゆっくり登ると、やがて避難小屋に出る。小屋の先を、栗生からのコースを左に分けて直進すると、山頂の岩場に躍り出る。岩の痩せ尾根を右に進むと、御座山の標識がある山頂に立つ。



細長い頂上は絶壁上の岩稜で、八ヶ岳全山をはじめ、北・南アルプス、浅間山や西上州の山々の展望が素晴らしい。コーヒーとクッキーや果物を食べ、のんびりと眺望を楽しみ下山する。帰りは往路を慎重に下る。往路では気が付かなかったが、針葉樹の中にカエデの紅葉が陽光を受けて赤や

黄色に染まっていた。紅葉を楽しみながら、のんびりと下り、送電鉄塔の下で昼食タイム。
本日の山ごはんはナポリタン、紅葉を愛でながら戴くナポリタンはとてもデリシヤス。
Sさんも前回のリベンジを果たし、お腹も満たされて満足そう。
紅葉を楽しみながら、駐車した広場まで下山する。森林交流センターのトイレに寄り、岩舟支所へ向かう。渋滞もなく順調に走り、予定よりも早く岩舟支所に着くことが出来た。

